

虹とこども水子地蔵と華鬘と天水桶

昨日は雨上がりに空を見上げると見事な虹の架け橋を目にすることができました。山門を出るとこども水子地蔵にはピンクの美しい薔薇が挿してありました。空から天女が降臨したようなドラマチックな思いに耽りました。今朝は朝のお勤め時に新たに設置した天水桶(銀閣寺型手水鉢)と華鬘(けまん)の写真を撮りました。どちらも本堂に彩りと風格を添えてくれました。ご来山時には是非ともご覧ください。

銀閣寺形手水鉢 ぎんかくじがたちょうずばち(以下茶道百字辞典より引用)

袈裟形手水鉢の一種。

名前の由来は、銀閣寺の方丈と東求堂との間にあることから。

方形の四方四面にそれぞれ異なった格子文様が彫り出され、斬新な造形感覚をもつ。上部の水溜めは円形で、足利義政が好んだとされる。

模索も極めて多い

合掌

令和5年4月27日

見性院住職

